

## 1 国語に関する調査

## 【特長】

- ・情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかを見る問題は、よくできた。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかを見る問題は、無解答が少なく、正確に解答することができた。

## 【課題】

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることに課題が見られる。目的や文章の種類などに応じて、情報を整理する学習活動を取り入れていく。
- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題が見られる。資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心や情報量を予想し、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定することが必要である。

## 2 算数に関する調査

## 【特長】

- ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかを見る問題は、児童の正答率が高かった。
- ・角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数を考える問題では、言葉と数を用いて理由を記述することができる児童の割合が高い。

## 【課題】

- ・円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さを正しく選ぶことに課題が見られた。立体の具体物と見取図や展開図を結び付けるなどして、角柱や円柱についての理解を深められるようにする必要がある。
- ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題で正答率が低い。二つの数量を表にまとめたり、タブレット端末上で操作したりしながら比べ、考えた結果を言葉で表現する機会を設け、習熟を図る必要がある。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- ICT 機器を活用した授業について研究を進めてきたことで、ICT 機器の有用性を感じている児童の割合が高い。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると感じている児童が多い。

#### 【課題】

- 朝食を食べなかったり、寝起きする時刻にばらつきがあったりする児童もいるので、基本的な生活習慣について、引き続き指導していく。
- 普段の生活の中で、携帯電話やスマートフォン、コンピューターゲームなどで長時間ゲームをする児童の割合が高い。家庭学習や読書などの習慣を定着させるよう声をかけていく。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- 児童一人一人の学びを確かなものにするために、校内の研究では「ICT 機器を活用した授業づくり」をテーマにし、児童主体の学びについて研究していく。
- 学習の基礎・基本の定着と、児童の自ら学ぶ意欲を高めることを目的とした家庭学習の推進に努める。
- 自分の意見や考えを発表したり、他者と話し合ったりすることで、自分の考えを深めたり広げたりすることができるよう、話し合い活動の充実を図る。
- 学校が楽しいと感じられるよう、行事の企画、推進など、学校生活の充実に向け、全教職員で取り組んでいく。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 毎日朝食を食べたり、同じくらいの時刻に寝たり起きたりするなど、基本的な生活習慣の定着について学校でも指導してまいりますが、ご家庭でも声かけをお願いします。
- 放課後や休みの日など、家庭学習や読書の時間を生活の中に積極的に取り入れ、お子さんの成長に応じた学習環境づくりをお願いします。
- 地域とのかかわりが子ども達の生活の安心につながっています。今後も子ども達にお声かけいただき、地域全体で見守っていただけるようご協力をお願いします。